

NO.	委員 (敬称略)	意見内容	反映状況
1	田久保	<p>現指針の反省点を反映し新指針の目的や求める役割を明確にし、その上で記載内容を検討することが重要ではないかと考えます。その際の記述内容は具体的な記述を多くする場合と抽象的な記述を多くする場合どちらにするか検討が必要と思います。</p> <p>(1)具体的な記述を多くする場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的: 市民や行政職員が、具体的な行動に移しやすいようにする。 ・対象読者: 市民協働に慣れていない人や、初めて指針を読む人。 ・指針に求める役割: 実践的なガイドラインとしての役割を重視する。 <p>○例:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民参加の方法や手続きを具体的に記述する。 ・協働事業の事例を詳細に紹介する。 ・補助金制度の利用方法や申請手続きを説明する。 <p>(2)抽象的な記述を多くする場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的: 幅広い状況に対応できるようにする。 ・対象読者: 市民協働に慣れている人や、指針の基本的な考え方を理解している人。 ・指針に求める役割: 基本理念や原則を示す指針としての役割を重視する。 <p>○例:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協働の基本的な考え方や理念を示す。 ・関係者の役割分担の原則を示す。 ・協働を進める上での留意点を示す。 <p>(3)両者を組み合わせる場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指針の前半で基本的な考え方や理念を示し、後半で具体的な方法や事例を紹介する。 ・指針の本文は抽象的な記述にとどめ、別冊の資料集などで具体的な情報を提供する。 <p>前指針の場合、具体的な行動計画の記載がなく、新指針でさらに市民協働を広く市民に理解してもらい、積極的に参加を促すという目的があるならば、前指針の反省を生かしある程度具体的な記述を含めることが望ましいと考えます。ただし、具体的な記述は、状況の変化に合わせて見直す必要があるため、指針自体は抽象的な記述にとどめ、具体的な情報は別の形で提供するという方法もありますので検討していただきたいです。</p>	<p>ご指摘の(3)を採用させて頂くイメージで、具体的な行動(将来像)の周知を目的として資料編の前に、主体別行動の未来像を示すページを作成しました。今回の指針改定以後の見直しも否定するものではありませんが、あまり短期的なサイクルは見据えていないことから、詳細かつ具体的な行動というよりは、将来の理想の姿を掲載しました。</p>
2	田久保	<p>前指針には記載がありませんでしたが、本市協働の質を高める上で今回は開設以降25年経過した市民活動サポートセンターの在り方を含むことも望みます。</p> <p>現在、各サークルの“机とロッカー”としての機能が主であり、他市にみられるような市民協働のプラットフォームや、中間支援組織機能が見られません。市民協働の拠点として開設されたはずであろう施設の今後の方向性を明確にすることも本市協働の推進に必要なだと思えます。</p>	<p>サポートセンターはこれまでも「中間支援機能を高める」という課題があり、今後も変わらない課題と捉えているため、11ページの「コーディネート力の向上」の記載箇所で追記しました。</p>
3	影山	<p>以前の講習会で粉川先生の示されたコレクティブインパクトの考えも第3章に盛り込んではいかがでしょうか。</p>	<p>コレクティブインパクトの考え方の要素は随所に盛り込んでいますが、市民に分かりやすさを重視し、敢えて学術的な記述は避けることとしました。</p>
4	影山	<p>協働の成果として、関わった主体それぞれが課題に対してや主体同士に対する意識や考え方が変容していく(ポジティブな変容)とも言われているのでそのあたりの追記も検討してもよいかなと</p>	<p>9ページの期待される効果の一部を修正し反映しました。</p>
5	影山	<p>事業が効果的かつ健全に回っているかを評価する手法としてPCM(プロジェクトサイクルマネジメント)という手法があり、これを現場のNPOに即した形のPCM-PIAという手法が開発されてきています。このあたりも協働の効果的かつ効率的に進めるための要素として追記しても良いかなと感じています。詳しくは次回以降の委員会などでも</p>	<p>協働事業等の調査の方法など、今後の推進方法に生かせる可能性がありますので、一度ご紹介いただきたいと思います。</p>
6	小出	<p>第1章の中に、これまでの経緯(取り組み)を紹介する文章があった方が良いと思います。(12ページの全体的なものではないもの)</p> <p>(例)</p> <ol style="list-style-type: none"> (1)船橋市における協働の経緯 (2)基本指針の策定以降 <ul style="list-style-type: none"> ・具体的な取組の掲載を 	<p>冒頭のページに、市長の「ごあいさつ」として、これまでの船橋の協働の経緯を加えました。</p>